

たねまき



最初に配る手札	毎ターン引く、種カード
なし	プレイする人数+1枚

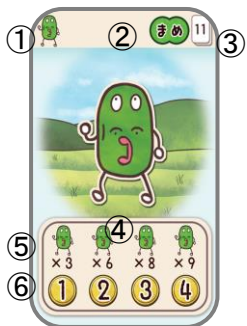
■概要

プレイヤーは農家となり、野菜の種を集めます。
種が必要な量までまかれたらお金を得ることができます。
一番お金を多く獲得できた人が勝者となります。

■内容物

- ・説明書
- ・種カード 45枚
- ・肥やしカード 15枚

■種カードの見方



●カードの表面

- ①種のマーク
1~3個書かれています。
- ②カードの種類名
種の種類名です。
- ③カードの総数
この種の種類数の総数です。
内訳の詳細は後述します。

④換金レート

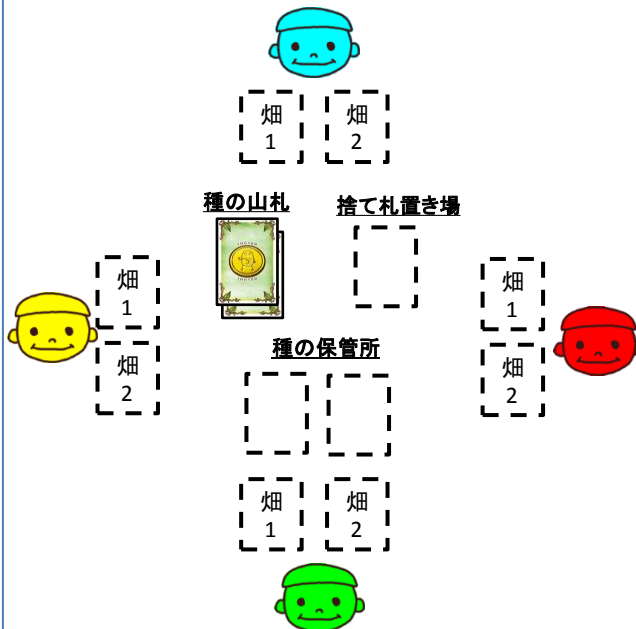
- ⑤いくつ種のマークを集めると、
- ⑥収穫時にいくらお金がもらえるかが書かれています。



●カードの裏面

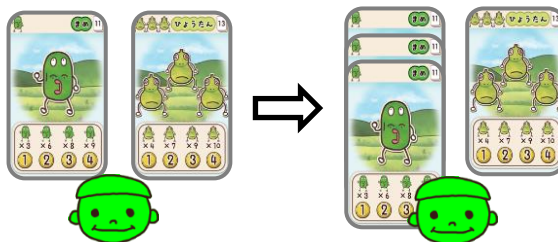
- ⑦ホイヤー
お金のマークです。
1ホイヤーを意味します。

■カードの配置



畑

各プレイヤーの前には自分用の「畑」が二つあります。
ここに手に入れた種カードを置くことができます。
1つの畑には1種類の種カードしか置くことはできません。
同じ種類の種カードは重ねておきます。



■ゲームの準備

- 1、種カードをシャッフルし、カードをまとめて山札とします。
この山札はすべてのプレイヤーの手の届くところに置きます。
- 2、じゃんけんなどで適当な方法で最初のプレイヤーを決めます。

■ゲームの流れ

自分の順番が回ってきたら次のアクションを行います。
※順番が回ってきたプレイヤーのことを
手番プレイヤーといいます。

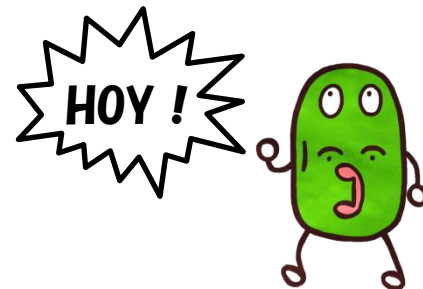
①種カードの補充

まず、手番プレイヤーは
ゲームに参加しているプレイヤーに1を足した枚数の
種カードを引きます。
(2人なら3枚、3人なら4枚、4人なら5枚引きます)

②種カードの分配

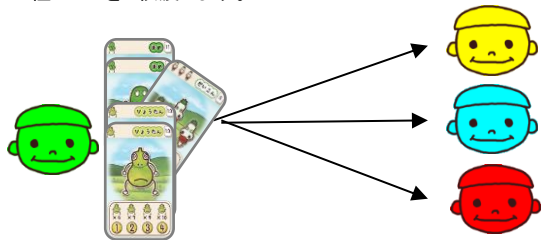
引いた種カードを他のプレイヤーに渡し、
渡されたプレイヤーは
自分の畑に種カードを置くかどうか判断します。
これについては次のページで詳細を説明します。

以上が終わったら、1ターンが終了します。
そして次のプレイヤーの番となります。



■種カードの分配について

手番プレイヤーは好きな自分以外のプレイヤーに種カードを1枚渡します。

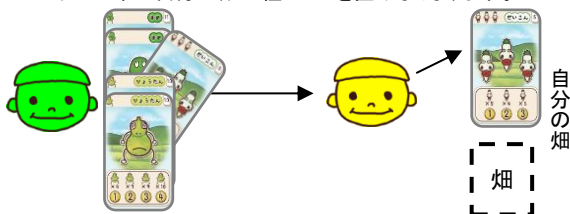


種カードを渡されたプレイヤーは種カードを自分の畑に置くかどうかを判断します。

その時にとれる選択肢は以下の3つです。

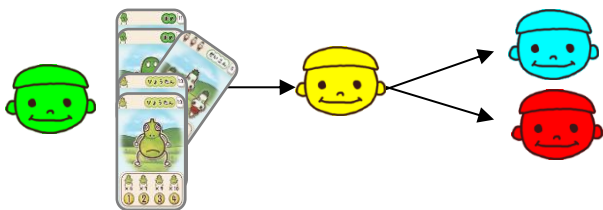
- ・自分の畑に種カードを置く
- ・種カードの内容を知らないプレイヤーに種カードを渡す
- ・種の保管所に種カードを置く

「自分の畑に種カードを置く」場合、置くこと決めた種カードを自分の畑に表向きに置きます。種カードをおいたプレイヤーはこのターン中に自分の畑へ種カードを置けなくなります。

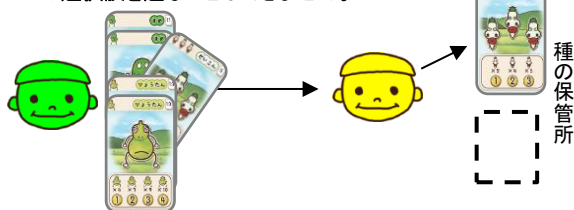


「種カードの内容を知らないプレイヤーに種カードを渡す」場合、手番プレイヤーや、現在渡された種カードを既に渡されたことがあるプレイヤーを除いたプレイヤーに種カードを渡します。

種カードを渡されたプレイヤーも上記の3つの選択肢から行動を選択します。



「種の保管所に種カードを置く」場合、置くこと決めた種カードを種の保管所に表向きに置きます。ただし、すでに2枚の種カードが保管所にある場合、この選択肢を選ぶことはできません。

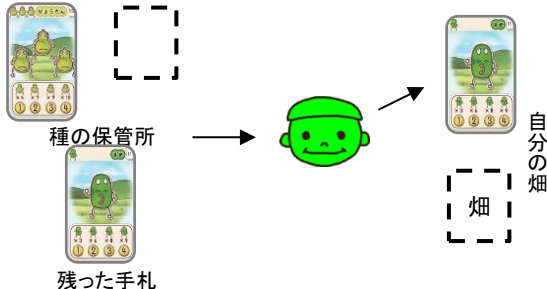


手番プレイヤーの渡した種カードが誰かの畑に置かれるか、種の保管所に置かれるかしたら、手番プレイヤーはこのターンにまだ種カードを自分の畑に置いていないプレイヤーへ手札からカードを1枚渡します。先ほどの流れと同様に渡されたプレイヤーは判断をします。

種カードをこのターン自分の畑に置いた人へは渡せません。



手番プレイヤー以外の全てのプレイヤーが畑にカードを置いたら、手番プレイヤーは種の保管所にある種カードか手札に残った種カードの中から1枚を選び自分の畑に置かなければなりません。



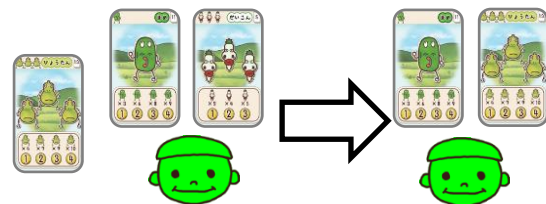
手番プレイヤーが種カードを1枚を自分の畑においたら、手番プレイヤーの選ばなかった手札、保管所にある種カードは全て捨て札置き場に置きます。この後、手番プレイヤーの左隣のプレイヤーが新しい手番プレイヤーとなりカードを補充し、新しいターンが始まります。

■収穫

畑の種カードを野菜として収穫し、お金を獲得します。収穫すると自分の畑に置いてある種カードは全て捨てます。捨てた種カードのマークが一定数に到達していると収穫した野菜に応じたお金を獲得することができます。



たとえば、豆は3マーク集めると1ホイヤー(お金の単位)になります。収穫することを選んだ畑の種カードを1枚裏返します。そしてそれを手元に置いておきます。裏向きになったカードが1ホイヤーを意味します。畑にある残りの種カードはすべて捨て札置き場に置きます。これは自分の番でなくても好きなタイミングで行うことができます。



もし、分配時に配られた種カードが現在畑に置いている種カードと違う種類でさらに畑が二つとも種カードで埋まっていた場合、既に畑に置かれている種カードを収穫しなければなりません。

収穫した畑の種の数が1ホイヤーに満たない場合、その畑からは1ホイヤーも得られないまま全て捨て札置き場に置きます。

※まれに、収穫時に得られるホイヤーが畑に置かれているカードの枚数を上回ることがあります。その場合は、畑に置かれているカードの枚数分しか、ホイヤーを得ることはできません。つまり、1枚しか置かれていない畑からは、1ホイヤーより多くのホイヤーを得ることはできないのです。

■ゲームの終了条件

種カードの補充が必要な枚数できない場合
即座にゲーム終了となります。

最後に現在畑に置いている種カードを
それぞれ収穫してホイヤーに変換します。
すべてのプレイヤーは自分の持っているホイヤーを数えます。
もっともホイヤーを持っているプレイヤーが勝者となります。

同点だった場合は、持っているホイヤーの中で
少ない野菜のカードを多く持っているプレイヤーの勝利です。

まず、大根の**カードの枚数**を比較します。
大根の**カードの枚数**が多いプレイヤーが勝利となります。
同じ数の場合、いも、それでも同じならきゅうり、
まめというふうに比較していきます。
それも同じ場合、その全員で勝利を分かち合います。

■2人用ゲームのルール

種カードの分配時に、
手番プレイヤーよりカードを渡されたプレイヤーは
取れる選択肢が以下の二つになります。

- ・自分の畑に種カードを置く
- ・種の保管所に種カードを置く

それ以外にルールの変更はありません。

■全カードの内訳表

名称	総数	×1	×2	×3
大根	5	2	2	1
いも	7	3	3	1
きゅうり	9	4	3	2
まめ	11	5	4	2
ひょうたん	13	5	5	3

※こやしは全部で15枚あり、すべて同じカードです。

■肥やしカード



肥やしカードは万能の種カードです。
すべての種カードの代わりに畑に置くことができます。

肥やしカードは好きな種のマーク1つ分になります。

たとえば、
既に豆の種カードが置かれている畑に、
肥やしカードを置いたとします。
この場合、肥やしカードは豆の種1つ分のカードになります。

すでに種カードが置かれている畑に
肥やしカードを置くことができます。

まだ何も置かれていない畑に肥やしカードを置くこともできます。

肥やしカードのみが置かれた畑と
まだ何も置かれていない畑があったとき
肥やしカードを何も置かれていない畑に置いても構いません。

しかし、肥やしカードのみが置かれている畑を収穫しても
ホイヤーを生み出すことはできません。

※ゲーム終了時に同点だったときは
総数の少ない種カードの枚数から比べていきます。
そのため、収穫時は肥やしカードではない
種カードを優先的にホイヤーにするとよいでしょう。

■バリエーションルール

肥やしカードの枚数を減らすことでよりシビアな展開となります。
好みに応じて減らして遊んでもよいでしょう。

もう少し長いゲームを楽しみたい時は、
種カードの山札が1度なくなった時、
捨て札をまとめて新たな山札とし、
この山札がなくなったらゲーム終了にしてもよいでしょう。

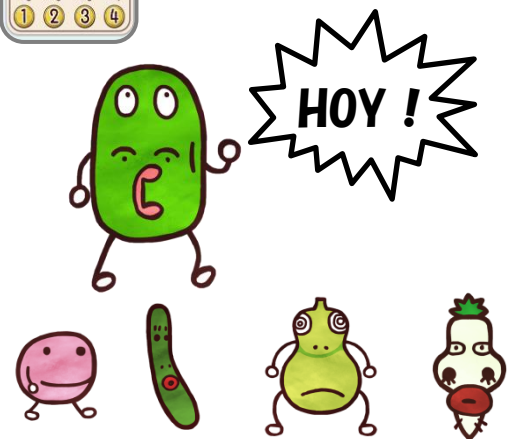
■畑のカードの並べ方



種カードは
各カードのマークがわかるよう、
左の図このように重ねると
いくつ畑にマークが
たまっているのか見やすいです。



肥やしカードは
畑の底にカードを置くといいでしょ。
手前に重ねておくと、
すでに置かれている
種カードの換金レートが
隠れてしまいます。



ゲームデザイン:

矢沢賢太郎

制作協力:

みちゃん
G2



TwitterID: @Hoy_Games

URL: <http://hoygamesmame.seesaa.net/>